

音楽芸術研究科【修士課程】説明会

令和2年9月4日(金)
沖縄県立芸術大学



令和2年度 音楽芸術研究科 入試説明会資料目次

No.	内 容	ページ
1	研究科長のあいさつ	阿部研究科長
2	入試概要について	P 3～6
3	カリキュラムについて	P 7～13
4	修士演奏、副論文、口頭試問について	P 14～16
5	学費・奨学金制度等の紹介	P 17～21
6	長期履修制度について	P 22
7	質疑応答	
8	各専攻毎の入試説明・相談会	

2 入試概要について

募集人員

専攻	専修	募集人員
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修 琉球舞踊組踊専修	4
演奏芸術専攻	声乐専修 ピアノ専修 管弦打楽専修	8
音楽学専攻	音楽学専修 作曲専修	3

●楽器種追加について

・管弦打楽専修では、楽器種に

サクソフーンが加わりました

日程

- 1 出願期間 令和2年9月18日(金)～9月25日(金)
- 2 録画物提出 ～令和2年10月16日(金)
(※舞台芸術専攻及び演奏芸術のみ)
- 3 基礎能力試験解答データ提出
令和2年10月19日(月)～10月21日(水)
- 4 試験日程 令和2年10月24日(土)～10月25日(日)
- 5 合格発表 令和2年10月27日(火) 午前10時
- 6 入学手続 令和2年10月28日(水)～11月6日(金)

試験科目

専攻／専修		専門試験	基礎能力
舞台 芸術 専攻	琉球古典音楽専修	実技試験 (録画物の提出)	琉球芸能史 (解答データの送付)
	琉球舞踊組踊専修		
演奏 芸術 専攻	声楽専修		和声 (解答データの送付及び オンライン口述試験) 西洋音楽史 (解答データの送付)
	ピアノ専修		
	管弦打楽専修		
音楽 学専 攻	音楽学専修		口述試験 (オンライン)
	作曲専修	口述試験 (オンライン)	西洋音楽史 (解答データの送付)

◇ 実技試験録画物の規格及び提出方法は「大学院音楽芸術研究科学生募集要項の変更について」で確認してください。

◇ 基礎能力試験については、過去問題を参考に学習してください。

配点

専攻／専修		総点	配点比		
			専門試験	基礎能力	語学
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修	100	80	20	
	琉球舞踊組踊専修				
演奏芸術専攻	声楽専修				
	ピアノ専修				
	管弦打楽専修				
音楽学専攻	音楽学専修		75 60	25 20	20
	作曲専修	80	20		

◇ 「語学」の試験が中止になったことに伴い、配点比が変更になりました。

3 カリキュラムについて

■別表2 (第4条関係) 専攻別教育課程表

舞台芸術専攻 琉球古典音楽専修

履修案内P59

履修区分	授業科目名	★	授業区分	1年次		2年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	琉球古典音楽研究Ⅰ	★	実技	8				18	30
	琉球古典音楽研究Ⅱ	★	実技			8			
	課題演習	☆	演習			2			
選択必修科目	創作演習		演習			2		8	
	琉球音楽論研究		講義			4			
	琉球楽劇論研究	☆	講義			4			
	論文作成法		講義	2					
選択科目	舞台制作研究		演習			2		4	
	能楽研究		講義			2 (前期)			
	日本音楽史研究	★	講義			4			
	民俗芸能論研究		講義			4			
	アートマネジメント演習		演習			2			
	民族音楽学研究		講義			4			
自由科目	声楽実技演習	★	実技			2			
	器楽実技演習	★	実技			2			
	学部開設科目					～4			

舞台芸術専攻 琉球舞踊組踊専修

履修案内P59

履修区分	授業科目名		授業区分	1年次		2年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	琉球舞踊組踊研究Ⅰ	★	実技	8				18	30
	琉球舞踊組踊研究Ⅱ	★	実技			8			
	課題演習	☆	演習			2			
選択必修科目	舞踊組踊創作演習		演習			2		8	
	琉球舞踊論研究		講義			4			
	琉球楽劇論研究	☆	講義			4			
	論文作成法		講義	2					
選択科目	舞台制作研究		演習			2		4	
	能楽研究		講義			2 (前期)			
	民俗芸能論研究	★	講義			4			
	アートマネジメント演習		演習			2			
	民族舞踊学研究		講義			4			
自由科目	声楽実技演習	★	実技			2			
	器楽実技演習	★	実技			2			
	学部開設科目					~4			

演奏芸術専攻 声楽専修

履修案内P60

履修区分	授業科目名	☆	授業区分	1年次		2年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	声楽研究Ⅰ	☆	実技	4				20	30
	声楽研究Ⅱ	☆	実技			6			
	オペラ総合実習A-Ⅰ	☆	実技	3					
	オペラ総合実習A-Ⅱ	☆	実技			3			
	協奏曲研究	★	実技	2					
	課題演習	★	演習			2			
選択必修科目	西洋音楽史研究	☆	講義			4		4	
	楽曲分析研究	☆	講義		2				
	論文作成法		講義	2					
選択科目	声楽特殊研究A	☆	実技		2			6	
	声楽特殊研究B	☆	実技			2			
	アートマネジメント演習		演習			2			
	舞台制作研究		演習			2			
	コンピュータ音楽応用研究		演習	2					
	楽曲構造特殊研究		講義			2 (前期)			
	音楽様式論		講義			4			
	音楽学特殊研究A		講義			2 (後期)			
	音楽学特殊研究B		講義			2 (前期)			
自由科目	学部開設科目					~ 4			

演奏芸術専攻 ピアノ専修

履修案内P60

履修区分	授業科目名	☆	授業区分	1年次		2年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	ピアノ研究Ⅰ	☆	実技	6				18	30
	ピアノ研究Ⅱ	☆	実技			8			
	協奏曲研究	★	実技	2					
	課題演習	★	演習			2			
選択必修科目	西洋音楽史研究	☆	講義			4		4	
	楽曲分析研究	☆	講義		2				
	論文作成法		講義	2					
選択科目	ピアノ特殊研究	☆	講・実	2				8	
	声楽曲伴奏法	☆	実技	2					
	室内楽実習Ⅰ	☆	実技	2					
	アートマネジメント演習		演習			2			
	コンピュータ音楽応用研究		演習	2					
	楽曲構造特殊研究		講義			2 (前期)			
	音楽様式論		講義			4			
	音楽学特殊研究A		講義			2 (後期)			
	音楽学特殊研究B		講義			2 (前期)			
	自由科目	学部開設科目					～4		

演奏芸術専攻 管弦打楽専修

履修案内P61

履修区分	授業科目名	☆	授業区分	1 年次		2 年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	管弦打楽研究Ⅰ	☆	実技	6				20	30
	管弦打楽研究Ⅱ	☆	実技			6			
	オーケストラ研究Ⅰ	☆	実技	2					
	オーケストラ研究Ⅱ	☆	実技			2			
	協奏曲研究	★	実技	2					
	課題演習	★	演習			2			
選択必修科目	西洋音楽史研究	☆	講義			4		4	
	楽曲分析研究	☆	講義		2				
	論文作成法		講義	2					
選択科目	管弦打楽特殊研究	☆	講・実			2		6	
	室内楽実習Ⅰ	☆	実技			2			
	室内楽実習Ⅱ		実技			2			
	コンピュータ音楽応用研究		演習	2					
	楽曲構造特殊研究		講義		2 (前期)				
	アートマネジメント演習		演習		2				
	音楽様式論		講義		4				
	音楽学特殊研究A		講義		2 (後期)				
	音楽学特殊研究B		講義		2 (前期)				
自由科目	学部開設科目			~4					

音楽学専攻 音楽学専修

履修案内P62

履修区分	授業科目名	☆	授業区分	1年次		2年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	演習Ⅰ	☆	演習	6				16	30
	演習Ⅱ	☆	演習			6			
	原典講読	☆	講義			4			
選択必修科目	民族音楽学研究	☆	講義			4		4~8	
	琉球音楽論研究		講義			4			
	民族舞踊学研究	☆	講義			4			
	民俗芸能論研究	☆	講義			4			
	西洋音楽史研究	☆	講義			4			
	日本音楽史研究	☆	講義			4			
	課題研究		講義	2・2 (前期・後期)					
選択科目	音楽様式論		講義			4		6~10	
	音楽学特殊研究A		講義			2 (後期)			
	音楽学特殊研究B		講義			2 (前期)			
	琉球楽劇論研究		講義			4			
	琉球舞踊論研究		講義			4			
	能楽研究		講義			2 (前期)			
	アートマネジメント演習		演習			2			
	楽曲分析研究		講義			2			
	コンピュータ音楽応用研究		演習	2					
	楽曲構造特殊研究		講義			2 (前期)			
	他研究科開設科目								
自由科目	声楽実技演習	★	実技			2			
	器楽実技演習	★	実技			2			
	学部開設科目					~4			

音楽学専攻 作曲専修

履修案内P62

履修区分	授業科目名	☆	授業区分	1年次		2年次		修得単位数	
				前期	後期	前期	後期	小計	合計
必修科目	作曲実習Ⅰ	☆	実技	6				18	30
	作曲実習Ⅱ	☆	実技			6			
	作曲演習Ⅰ	☆	演習	2					
	作曲演習Ⅱ	☆	演習			2			
	課題演習	☆	演習			2			
選択必修科目	西洋音楽史研究	☆	講義			4		4	
	楽曲分析研究	☆	講義		2				
	論文作成法		講義	2					
選択科目	専門関連実技演習Ⅰ	☆	実技			2		8	
	専門関連実技演習Ⅱ	☆	実技			2			
	コンピュータ音楽応用研究		演習	2					
	楽曲構造特殊研究	☆	講義	2					
	音楽様式論		講義			4			
	音楽学特殊研究A		講義			2 (後期)			
	音楽学特殊研究B		講義			2 (前期)			
自由科目	学部開設科目					～4			

4 修士演奏、副論文、口頭試問について

専攻／専修		修士論文等の課題
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修	修士演奏及び副論文
	琉球舞踊組踊専修	
演奏芸術専攻	声楽専修	
	ピアノ専修	
	管弦打楽専修	
音楽学専攻	音楽学専修	
	作曲専修	修士作品及び副論文

副論文について

- 1 対象学生
舞台芸術専攻学生
演奏芸術専攻学生
音楽学専攻作曲専修学生

- 2 副論文提出までの流れと指導体制

- 1年次：「論文作成法」等を履修
- 2年次：専門実技の指導教員と課題演習の担当教員、そのほか研究テーマに関係する教員など複数の教員で指導する。

3 副論文提出と口頭試問

副論文の提出は通常11月末。

翌1~2月にかけての修士演奏終了後に、口頭試問を実施する。

口頭試問は、副論文作成によって得られた成果と修士演奏との関連等を含んだ試問となっている。

4 評価

修士演奏、修士論文等は修士演奏、副論文及び口頭試問を総合的に評価し、主査と副査の合議によって合否を決定する。

5-1 学費について

授業料

年額： 535,800円

入学料

県内居住者： 282,000円

その他の者： 512,000円

入学考査料 30,000円

5-2 奨学金について

▶ 経済的理由により修学に困難がある者かつ優秀な学生に対し、学資として貸与等がされるものです。

- 1 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金(貸与)
- 2 財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金(貸与)
- 3 沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金(給付)
- 4 市町村及び各種団体奨学金

1 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金(貸与)

第一種奨学金： 修士課程・・・月額 5万円、8万8千円から選択
博士課程・・・月額 8万円、12万2千円から選択

※無利子

注):第一種は月額2種類から選択。在学中に家計が急変し上記月額以上の大幅な増額を希望する場合は、第二種の申込が新たに必要。

第二種奨学金： 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円 から
選択

※有利子

↑ 年・3%が上限

令和3年4月に本学修士課程に進学を希望する者で、奨学金を希望する者は、日本学生支援機構奨学金の予約採用申込が可能です。

* 入学が内定していなくても 応募可能です。

* 予約採用にもれた場合でも、入学後の定期採用に申し込むことは可能です。

* 募集要項配布：8月初旬(予定)

〈その他〉入学時特別増額貸与

※有利子

▶ 10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択

- * **1年次のみ**、初回振込時又は支援機構の定める月に受けることができます。
- * 入学時特別増額貸与のみ受けることはできません。所定の要件を、満たす必要があります。

《特に優れた業績による返還免除》

- * 第一種奨学金貸与の学生が対象
- * 在学中に「特に優れた業績をあげたもの」に対して、返還を免除する制度です。学内専攻委員会において、申請された業績や成績などを総合的に評価して選考を行い、支援機構から示された推薦枠の範囲内で返還免除候補者として支援機構に推薦します。
さらに、支援機構で審査が行われ、認められた場合に奨学金の全額又は一部が免除されます。
- * 募集要項配布：12月頃（予定）

2 財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金(貸与)

※無利子貸与

- ・ 沖縄県に住所を有する者の子弟で、学業、人物ともに優秀でかつ健康であり、学資の支弁が困難な者。
- ・ 他から奨学金の貸与を受けていないもの。

3 沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金(給付)

沖縄県立芸術大学に在学する学生対象。例年7月に募集。

- ・ 他から奨学金の貸与又は給付を受けていないもの。

4 市町村及び各種団体奨学金

各市町村育英会、または育英法人等からの募集については、管理棟廊下及びキャンパスの掲示板にて随時案内しています。

長期履修学生制度について

○長期履修学生制度とは

大学院において、職業を有している等の事情により、2年間の修業年限では履修が困難な学生に対して、当該修業年限を超えて履修することができるよう履修期間を延長する制度

○対象者

- ①フルタイム、パートアルバイト含む有職者(官公庁・企業・自営業等)
 - ②育児、介護を行う者
 - ③その他やむを得ない事情を有し、修業年限での修了が困難な者
- ※①②のいずれも修学に支障を及ぼさない範囲の者は除外

○修業年限・在学期間

修業年限は2年、在学年限は4年です。

○授業料

履修期間3年の場合

(1年目)	(2年目)	(3年目)
357,200円	357,200円	357,200円

総額は、授業料年額535,800円×修業年限2年=1,071,600円と同じ。

ご静聴ありがとうございました



詳しくはこちらまで↓
<http://www.okigei.ac.jp/>